

第4回観光戦略研究会

株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長 デービッド・アトキンソン 様

東京都公立大学法人では、観光戦略プロジェクトの一環で、プロジェクトに賛同して下さった業界の方々にお集まりいただき、新しい時代の観光のあり方を幅広く、多面的に、かつ深く研究する観光戦略研究会を実施しています。最終年度となる今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光産業がこれまでに経験したことがない甚大な打撃を受け、依然として厳しい状況にあることを踏まえ、「コロナ後の観光をどう再興するか」をテーマとした研究会を開催致します。

2020年12月14日(月)に今年度第4回目の観光戦略研究会を実施しました。今回は株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長 デービッド・アトキンソン様を講師に迎え、「コロナ後の観光をどう再興するか」と題してご講演頂きました。

プロフィール

講師：デービッド・アトキンソン 氏

株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長
奈良県立大学客員教授。
元ゴールドマン・サックス証券 金融調査室長



オックスフォード大学(日本学専攻)卒業後、大手コンサルタント会社や証券会社を経て、1992年ゴールドマン・サックス証券会社入社。大手銀行の不良債権問題をいち早く指摘し、再編の契機となった。同社取締役を経てパートナー(共同出資者)となるが、2007年退社。2009年に創立300年余りの国宝・重要文化財の補修を手掛ける小西美術工藝社入社、取締役に就任。2011年代表取締役会長兼社長、2014年に代表取締役社長に就任し現在に至る。

1999年に裏千家に入門し、2006年に茶名「宗真(そうしん)」を拝受。2016年財界「経営者賞」、2017年「日英協会賞」受賞、2018年総務省「平成29年度ふるさとづくり大賞個人表彰」、2018年日本ファッション協会「日本文化貢献賞」受賞。

著書は『新・観光立国論』（山本七平賞、不動産協会賞、東洋経済新報社）、『新・所得倍増論』（東洋経済新報社）、『日本再生は、生産性向上しかない!』（飛鳥新社）、『世界一訪れたい日本のつくりかた』、『新・生産性立国論』、『日本人の勝算』、『日本企業の勝算』（以上、東洋経済新報社）、『国運の分岐点』（講談社）など多数。

- ・内閣官房 成長戦略会議 有識者
- ・観光戦略実行推進タスクフォース 有識者
- ・行政改革推進会議歳出改革ワーキンググループ構成員
- ・農泊 食文化海外発信地域 有識者会議委員
- ・国立公園満喫プロジェクト有識者会議検討委員
- ・分かりやすい多言語解説整備促進委員会委員
- ・日本遺産審査委員 他

講演では、「コロナで観光産業は大打撃だが、やるべきことは変わらない。もともと弱かったところがコロナによって表面化した。今はその一つずつを徹底してクリアにしていくだけだ」と述べられました。

その上で、日本の観光戦略の中で重要なポイントとして「インフラ整備」と「情報発信」を挙げ、具体策の一例として、サービスレベルが担保された高級ホテルの拡充、日本政府観光局（JNTO）のデジタルマーケティング機能強化と対外情報発信一元化について言及されました。

また、今後も地方経済の活性化において観光産業は重要な要素であり、地方が持つ四季折々の豊かな自然を活かした自然観光は、長期滞在が期待でき、大きなポテンシャルを秘めていると指摘されました。